

### ミニ手賀沼を生き物たちでいっぱい!

**日時** 7月18日(土)午前10時~正午  
**場所** 手賀沼水広場ミニ手賀沼(水の館正面玄関前集合)  
**内容** 水生動物を調べてから水草植え  
**定員** 当日先着50人(小学3年生以下は保護者同伴)  
**費用** 無料  
**持ち物** マスク・タオル・飲み物・帽子・着替え・ミニ手賀沼に入るための靴  
**問** 手賀沼水環境保全協議会 ☎043-223-3821 (当日は富宇加 ☎070-2804-9178)



### 参加無料 手賀沼流域フォーラム

手賀沼の水質浄化や魅力などを伝え、自分でできることを考えてもらうため、さまざまなイベントを開催しています。



#### かかし祭り

**日時・内容**  
 ①かかし作り 7月11日(土)午前8時30分~正午  
 ②かかし祭り 8月22日(土)午前8時30分~正午  
 ※雨天順延

**場所** 根戸城址(根戸1349)  
**定員** ①先着8組(1組4人まで) ②先着30人※小学生以下は保護者同伴  
**問・問** 富澤 ☎090-2234-5610 info@teganuma-trust.jp

### わたしたちの使う水はどこから来るのー考えよう 環境にやさしい暮らし方ー

**日時** 7月18日(土)①午後1時~2時15分②午後2時45分~4時  
**場所** アビスタ工芸工作室  
**対象** 小学3年生以上の親子※5年生以上は単独参加可  
**定員** 各回18人



**問・問** 7月10日(金)までにEメールで参加者全員の住所・氏名・学年・電話番号・希望する時間を明記。消費生活センター ☎7185-1469 teganumaforum@yahoo.co.jp

### 岡発戸・都部の谷津に生息している昆虫を観察しよう! 夏の昆虫観察会

**日時** 7月23日(祝)午前9時~午後0時30分  
**場所** 中央学院高等学校校舎前集合  
**講師** 秋山信さん(中央学院高等学校 生物部顧問)・生物部  
**定員** 先着40人 **費用** 50円(保険料)  
**持ち物** ルーペ(虫眼鏡)・虫かご・虫捕り網・水分など暑さ対策・長靴・長袖・長ズボン  
**問・問** 手賀沼課 ☎7185-1484



### 我孫子市認知症高齢者等 見守りシール交付事業が始まりました!

◎認知症の方が安心して暮らせるまちづくりを目指して  
 見守りシールとは携帯電話などで読み取ることのできるQRコードが印字されたシールで、衣服や靴、杖などの持ち物に貼って使います。行方不明となった高齢者を発見した方がQRコードを読み取ると、家族とインターネット上の伝言板でやり取りすることができます。個人情報の入力はありません。  
**対象** ①おおよび②に該当する方※65歳未満の若年性認知症の方も対象です  
 ①要介護または要支援認定を受け、在宅で生活している市民  
 ②認知症によるひとり歩き(徘徊行動)により警察に通報・保護されたことがある方



◎見守りシールに気づいたら…  
 見守りシールを貼っている高齢者を発見・保護した際は、QRコードを読み取ってください。地域の皆さんの協力が迅速な支援につながります。詳しくは市ホームページをご覧ください  
**問** 高齢者支援課 ☎7185-1112

▲動画で確認 実際は伝言板が表示されます

## すこやかちゃん



まつのぶ さき 松延 咲希ちゃん (白山・1歳2カ月)

いつも皆を笑顔にしてくれてありがとう◎お姉ちゃんと仲良く、元気に大きくなってね♡



わたなべ たいが 渡邊 大雅ちゃん (我孫子・1歳3カ月)

甘えん坊で食いしん坊の大雅 ☆お兄ちゃんに負けずにたくましく大きくなってね!!

### テーマトーク オンラインで実施

全ての鳥の羽毛は使い捨てで、定期的に抜けて新しいものに交換されます。その一連のプロセスを換羽といいます。鳥の生活の中での換羽の役割や身近な鳥の換羽の観察のコツに加え、換羽に着目すると野外観察が一段と面白くなる実例を紹介します。

**日時** 7月18日(土)午後1時30分~2時15分  
**講師** 小田谷嘉弥さん(鳥の博物館学芸員)  
**費用** 無料

**問・問** 鳥の博物館または山階鳥類研究所のホームページから申し込み。鳥の博物館 ☎7185-2212 https://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/ 山階鳥類研究所 ☎http://www.yamashina.or.jp/

ミュージアムインフォメーション

### 鳥の博物館

Abiko City Museum of Birds 234-3 Konoyama Abiko



▲翼の羽毛を換羽中のコアジサシ

### 鳥の博物館30周年一鳥博を支える収蔵標本一

鳥の博物館では、開館以来多くの方たちの協力を得て、標本資料の収集を続けてきました。開館30周年の今、日本の鳥を中心に約3000点の標本を収蔵しています。標本の一つ一つには、ラベルが付され、その資料が拾得された場所と年月日が記入されています。適切に管理された標本からは、当時の個体の状態や



▲鳥の博物館の収蔵標本(館内の標本を3階展示室に集めた時の様子)

環境の変化などさまざまな情報を読み取ることができます。標本という実物資料は、分析技術の進歩や研究の進展に伴い、将来に渡り新たな情報を提供し続けてくれます。いわば地域の自然の歴史を振り返ることのできるタイムマシンであり、自然史博物館の活動を支える人類の共有財産です。

鳥の博物館では、今後も資料の収集を続けるとともに、それぞれの標本に刻まれた進化の歴史について語り続けていきます。

7月子育て応援情報 無料

保育園・幼稚園などの地域子育て支援

7月から利用日を変更して一部の施設を解放します。保育園などで園庭を開放しています。一緒にいろいろな経験をしましょう。

**期間** 3月まで(8月を除く) ※雨天中止 **申込不要**

**問** 保育課・内線459

◎詳しくはお問い合わせください。市ホームページにも掲載中!

子育て情報は、メール配信をしています。詳しくは保育課子育て情報担当 ☎7185-1915へ。